

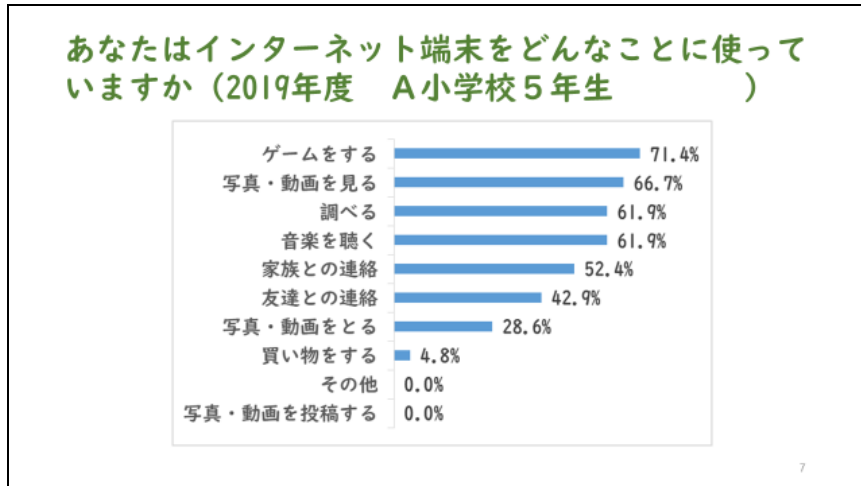
社会教育編：h

テーマ「子どもの最善の利益」

タイトル「ネット社会の中で生きる子ども ～家族でできることは何だろう～」

【学習資料】

資料1



SNS上のコミュニケーションで誤解されないように自分の考えを相手に伝えるために

- ・友達と一緒に**ルール**をつくる。
- ・**相手**に伝わるようにくわしく書く。
- ・かん違いされないように、**分かりやすい言葉**を使う。
- ・**責任**を持って、**確認**してから送る。
- ・**実際に会って**、面と向かって話す。

授業を通して子どもは自分のめあてを考えました。

資料2

「子どもの権利条約」

< 2つの基本理念 >

- ・ **子どもの最善の利益**
- ・ 例外なく、全ての子どもたちの権利が守られる

< 4つの柱 >



生きる権利



育つ権利



守られる権利



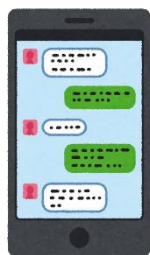
参加する権利

第5条 **父母（保護者）はふさわしい指導を**

父母（保護者）は、その子どもの成長のためにふさわしい指導する責任と権利があります。

<参考> ネット社会「ケータイ・スマホ」カード (実線を切り取り、点線で折ってのり付けをして使用)

無料通信アプリ



- ・ 人間関係を広げるツールの一つ
- ・ 個人情報の流出

オンライン対戦ゲーム



- ・ ボイスチャット
- ・ e-Sports (イースポーツ)
- ・ 歩きスマホ、ながら運転
- ・ ペアレンタルコントロール (使用制限、閲覧制限)

ブログ



- ・ 双方向な書き込みや閲覧
- ・ 中傷・悪口 (書いた人は特定できる)
- ・ フェイクニュース (2016 アメリカ大統領選挙)

メールでやり取り



- ・ 短文、気軽
- ・ コミュニケーションツールの一つ
- ・ 正しく伝える文章力 「何で行く?」「いいよ」

ウイルス感染!?



- ・ 不正アプリ
- ・ フィルタリング
- ・ ウイルス対策
- ・ スマホでもウイルス感染

スマホの利用時間りようじかん



- ・生活せいかつの中心ちゅうしんになりつつあるスマホ
- ・中高生ちゅうこうせいの7人に1人がネット依存症いぞんしょう
(2017厚労省調査こうろうしょうちょうさ)

〇〇ペイ



- ・スマホ決済けっさい
- ・銀行口座へ振り込めるサービスぎんこうこうざふこ
- ・クリック詐欺さぎ

ユーチューバー



- ・小学生しょうがくせいのなりたい職業しよくぎょうランキング
で上位じょうい (2018日本FP協会調査にほんきょうかいちょうさ)
- ・動画・画像の投稿どうががぞうどうこう
- ・損害賠償そんがいばいしょう

スマホで撮影さつえい



- ・プロフ (プロフィールサイト)
- ・GPS機能きのう
- ・写真から位置情報を取得しゃしんいちじょうほうしゅとく

スマホの学校持ち込みがっこうもちこみ



- ・Wi-Fi (ワイファイ) 整備せいび、授業じゅぎょうに
使用しやう (県内高等学校けんないこうとうがっこう)
- ・小中学校へのスマホの持ち込みを
原則禁止から見直し(2019文科省しょうちゅうがっこうもこ)
原則禁止げんそくきんしから見直しみなおもんかしやう

【学習のポイント】

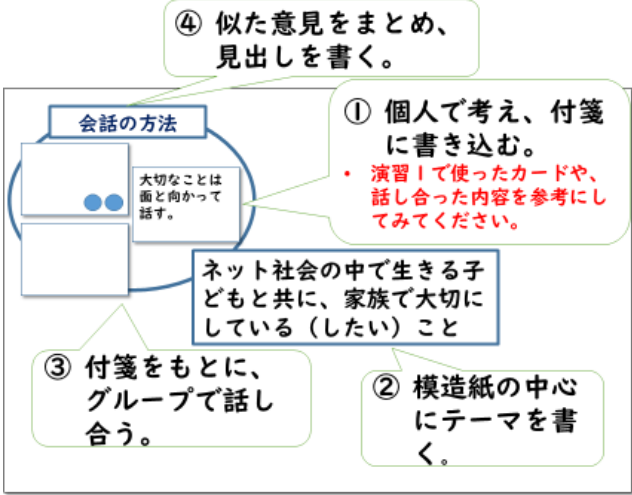
○子どもや家族の経験を意見交換する活動等を通して、ネット社会（ケータイ・スマホ等）に関する課題を捉えたり、その解決方法を考えたりする。

【キーワード】

○人間関係づくり、子どもの最善の利益

【すすめ方（80分）】

流れ	分	主な活動	主な発問	留意点
導入	3	1 本研修会のねらいや進め方の説明をする。 ・基本的マナーについて確認する。	■本研修会のねらいや進め方について説明します。 ・真面目な雑談 ・「参加・尊重・守秘」を確認	◆事前に4人組をつくっておくとよい。
	5	2 アイスブレイクをする。 ・グループごとに自己紹介をする。	■自己紹介をしましょう。 ・名まえ ・子どもの学年 ・ねこ型ロボットのひみつ道具（未来の道具）の中で1番ほしいものとその理由	◆雰囲気づくりと、未来の社会を想像することについて触れる。
	5	3 A小学校の子どものまなびを紹介する。 ・アンケート結果 ・課題について、子どもが考えたためあて	■子どものアンケート結果と、授業を通して考えたためあてを紹介します。	◆資料1を参照する。研修実施校のアンケート結果や子どものまなびがあれば、そちらを紹介する。
展開1	25	4 ネット社会（ケータイ・スマホ等）の経験をカードのキーワードをもとにして話し合う。 ①キーワード（イラスト側）を表にして、カードを並べる。 ②好きなカードを選び、選んだ人からカードの内容について話す。 ③全員が話し終わったら、選んだカードを裏にする。 ④次のカードに移り、②③を繰り返す。	■ネット社会（ケータイ・スマホ等）の経験を、みんなで話し合しましょう。	◆「ネット社会『ケータイ・スマホ』カード」を使用する。 ◆裏の関連ワードや情報を読んで気づいたことがあれば、自由に話し合う。 ◆1つのカードにつき5分以内とし、5分ごとにカードの変更を促す。
展開2	20 (5)	5 グループで話し合い活動を行う。 【個人で】	■「ネット社会の中で生きる子どもと共に、家族で大切にしている（したい）こと」	

	(15)	<p>①個人で考え、付箋に書き込む。 【グループで】 ②模造紙の中心にテーマを書く。 ③付箋をもとに、グループで話し合う。 ④似た意見をまとめ、見出しを書く。</p>	<p>を付箋に書きましょう。</p> <p>■付箋をもとに、グループで話し合しましょう。</p>  <p>④ 似た意見をまとめ、見出しを書く。</p> <p>① 個人で考え、付箋に書き込む。 ・ 演習1で使ったカードや、話し合った内容を参考にしてみてください。</p> <p>② 模造紙の中心にテーマを書く。</p> <p>③ 付箋をもとに、グループで話し合う。</p> <p>会話の方法 大切なことは面と向かって話す。 ネット社会の中で生きる子どもと共に、家族で大切にしている(したい)こと</p>	<p>◆展開1で使ったカードや、話し合った内容を参考にする。</p>
	10	<p>6 ポスターセッションをする。(2回) ①説明役1人を決める。 ②説明役以外の人他グループに行く。 ③説明役はグループで出た意見を説明する。 ④聞いている人は、説明を聞いて、思ったことを話す。 ⑤「いいな」と思った意見にシールを貼る。 ⑥最初のグループに帰って、意見を共有する。 ⑦説明役を交代し②～⑥を行う。</p>	<p>■説明役1人を残して、他の人は別のグループへ移動して話し合いをしましょう。</p> <p>■他のグループの意見を持ち帰って、グループで共有しましょう。</p>	<p>◆2セット行い、2セット目は説明役を交代する。</p> <p>◆シールは、1人5枚程度配布する。</p> <p>◆ポスターセッションの後、グループに戻り、情報交換をするように促す。</p>
まとめ	12	<p>7 ファシリテーターがまとめをする。 ・「子どもの権利条約を紹介する。 ・保護者としてできることがあることを伝える。 ・参加者に、たくさんの意見の中から、自分ができるところを持ち帰ってもらう。</p> <p>8 振り返りシートに記入する。</p>	<p>■グループで出た意見や本時の活動と、子どもの権利条約とのかかわりを話してまとめとする。 ・多かった意見をいくつか紹介する。</p>	<p>◆資料2 子どもの権利条約を紹介する。参考資料として、『正しく使おう！ケータイ・スマホ』鳥取県ケータイ・インターネット教育啓発推進協議会』を配布する。</p>

